報告日：2019.3.12

**学 院 長**

報告者：植田　吉祥

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（受講者）

**教員研修 受講報告書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **受 講 テ ー マ** | **日　時** | **場　所** |
| 「情報セキュリティ@2019」 | **期日 2019.3.8**  **時間 17:00 ～18:00** | CKGBC　大橋校  　メディアルーム |
| **受講内容と受講所感等**  　NDS、園田氏から「情報セキュリティ＠２０１９」のテーマで研修を受講した。内容については、IoTについてのセキュリティがテーマであり、身近でかつ注意を払わなければならないものの一つであった。  　家電系のソフトウェアの作り込みの中で、いつの頃からか「アップデート」という言葉をキーワードにして、脆弱な麺がクローズアップされてきているような気がする。従来のハードウェアの一部に固定ROMコードとして製品ごとに作り込まれたものについては、それほど、脆弱性が指摘されなかったように思える。また、最近の製品の中には、Linuxなどのオープンソースソフトウェアをカスタマイズして搭載するようになったのも一員ではないかと感じる。このバックグラウンドで考えると、思い出す・新しく勉強するのにしても、良い機会を得たように思える。  　セキュリティについての具体的な防御については、マニュアルの熟読、パスワードの設定、アップデートと、いわゆる「基本」に忠実なことが求められているように感じた。当たり前なのだが、自分の周りのデバイスについてもそのように行いたい。その一方で、最近のトレンドで、「パスワードを変更しない」、２段階認証、マニュアルレスというのが当たり前になっているため、デバイスを置かれた環境をベースにして最適なセキュリティ対策を一つずつ構築していかなければならない状況になってきているのかもしれない。  　セキュリティについては、昔に仕事をさせてもらった方が、上長のメールアドレスからパスワードを教えてくれというメールを部下に投げて、それに返信した人をセキュリティの弱点として教育を組み立てるという話を聞いた。日本の企業でセキュリティ対策を行うときは、上下関係の中で必ずしも正しい仕組みが組みにくいのかもしれない。ただ、全体的な仕組みを作り込んでいく上では、監査の仕組みづくりと、それに対する教育が必要になるのではないかと研修後に事例をベースに考えた。  　セキュリティ的なトピックを提示された研修なので、今後、知識を深めていきたいと思った。 | | |
| **今後の希望・提案等**  　久しぶりに、トレンド系ではなく、技術系のテーマであり、興味を持って受講できた。この手の研修については、手を動かすことも入ってくると、聞くだけではなくより深く学べるのではないかと思う。  　研修テーマの提案としては、外国人が関わるビザについて（特定技能や、最近の話題など）について、入管の人から講義などを行われてほしい。 | | |

※受講後、５日以内を目処に研修実施記録と併せ、本報告書を学院長宛に提出のこと